

F-22戦闘機の暫定配備に抗議する意見書

平成30年5月30日、米太平洋空軍は米アラスカ州エルメンドルフ空軍基地所属のステルス戦闘機F-22Aラプターを嘉手納基地に暫定配備すると発表し、同日30日に10機、6月8日に4機が飛来した。沖縄防衛局によると配備期間は約1か月とのことである。F-22戦闘機の暫定配備は平成28年1月から3月までの配備以来で約2年3か月ぶりだが、平成19年2月の初配備以来10回目となり強い憤りを禁じ得ない。米軍は今回の配備の理由を「米インド太平洋軍の地域安全保障計画で、米軍が地域の安定と安全に関与することを示すため」と発表したが、沖縄防衛局が基地周辺自治体に通知したのは第一陣が到着する約2時間半前のことだった。米軍及び沖縄防衛局の地元軽視の態度に対し強い不信感を抱くものである。

近年、米軍の傍若無人な嘉手納基地の運用は受忍限度をはるかに超えている。F-15戦闘機など常駐機の飛行訓練により昼夜問わず轟く騒音に苛まれるなか、米本国など他基地所属の戦闘機がたびたび暫定配備され、他にも日常的に外来機が飛来している。沖縄防衛局の調査によると平成29年度の嘉手納基地における全機種の新着回数58,066回のうち、約35パーセントにあたる20,281回を外来機が占めており実態は常駐化そのものである。約半年間暫定配備されたF-35戦闘機が全機帰還したのは先月5日のことであり、やっと静かになったと安堵する間もなく、立て続けに強行された暫定配備は断じて容認することはできず即時撤退を強く求めるものである。

日米両政府は町民の切なる願いに真摯に耳を傾け、平成18年の米軍再編ロードマップで合意された嘉手納飛行場の負担軽減を真に実現すべく、速やかに取り組みを強化することを強く求める。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、F-22戦闘機の暫定配備に抗議するとともに、下記事項の速やかな実現を図るよう強く要求する。

記

- 1 F-22戦闘機の嘉手納基地での飛行訓練を中止し、即時撤去させること。
- 2 すべての外来機の嘉手納基地への飛来を禁止すること。
- 3 騒音防止協定を遵守し、航空機騒音の軽減を図ること。
- 4 嘉手納基地の負担軽減を速やかに実施し、これ以上の機能強化を中止すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年6月12日
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 内閣官房長官 (沖縄基地負担軽減担当)
沖縄及び北方対策担当大臣 外務省特命全権大使 (沖縄担当) 沖縄防衛局長
沖縄県知事

F-22戦闘機の暫定配備に抗議する決議

平成30年5月30日、米太平洋空軍は米アラスカ州エルメンドルフ空軍基地所属のステルス戦闘機F-22Aラプターを嘉手納基地に暫定配備すると発表し、同日30日に10機、6月8日に4機が飛来した。沖縄防衛局によると配備期間は約1か月とのことである。F-22戦闘機の暫定配備は平成28年1月から3月までの配備以来で約2年3か月ぶりだが、平成19年2月の初配備以来10回目となり強い憤りを禁じ得ない。米軍は今回の配備の理由を「米インド太平洋軍の地域安全保障計画で、米軍が地域の安定と安全に関与することを示すため」と発表したが、沖縄防衛局が基地周辺自治体に通知したのは第一陣が到着する約2時間半前のことだった。米軍及び沖縄防衛局の地元軽視の態度に対し強い不信感を抱くものである。

近年、米軍の傍若無人な嘉手納基地の運用は受忍限度をはるかに超えている。F-15戦闘機など常駐機の飛行訓練により昼夜問わず轟く騒音に苛まれるなか、米本国など他基地所属の戦闘機がたびたび暫定配備され、他にも日常的に外来機が飛来している。沖縄防衛局の調査によると平成29年度の嘉手納基地における全機種の新着回数58,066回のうち、約35パーセントにあたる20,281回を外来機が占めており実態は常駐化そのものである。約半年間暫定配備されたF-35戦闘機が全機帰還したのは先月5日のことであり、やっと静かになったと安堵する間もなく、立て続けに強行された暫定配備は断じて容認することはできず即時撤退を強く求めるものである。

日米両政府は町民の切なる願いに真摯に耳を傾け、平成18年の米軍再編ロードマップで合意された嘉手納飛行場の負担軽減を真に実現すべく、速やかに取り組みを強化することを強く求める。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、F-22戦闘機の暫定配備に抗議するとともに、下記事項の速やかな実現を図るよう強く要求する。

記

- 1 F-22戦闘機の嘉手納基地での飛行訓練を中止し、即時撤去させること。
- 2 すべての外来機の嘉手納基地への飛来を禁止すること。
- 3 騒音防止協定を遵守し、航空機騒音の軽減を図ること。
- 4 嘉手納基地の負担軽減を速やかに実施し、これ以上の機能強化を中止すること。

以上、決議する。

平成30年6月12日
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

駐日米国大使 太平洋空軍司令官 在日米軍司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官
在沖米国総領事 嘉手納基地第18航空団司令官 沖縄県議会議長